

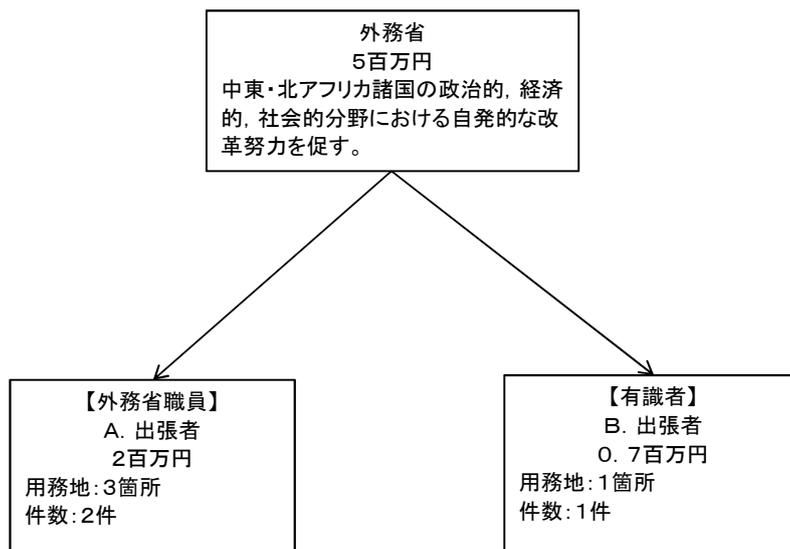
平成24年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	拡大中東北アフリカ（BMENA）構想－「未来のためのフォーラム」		担当部署	中東アフリカ局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成16年度開始 ・未定		担当課室	中東第一課		課長	長岡 寛介		
会計区分	一般会計		施策名	中東地域外交					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3項 外務省組織令第59条第5項		関係する計画、通知等	2004年のG8首脳会議で打ち上げられた構想					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	G8との共同事業として、拡大中東・北アフリカ諸国の政治的、経済的、社会的分野における自発的な改革努力を促すもの。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	1. 閣僚級会合出席旅費 2. 準閣僚級及び事務レベル会合出席旅費 3. NGO参加旅費								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求			
	予算の状況	当初予算	3	4	5	—	—		
		補正予算	—	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—	—		
		計	3	4	5	—	—		
		執行額	2	2	3	—			
	執行率(%)	67	50	60	—				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)		
	G8、中東・北アフリカ諸国の閣僚級、国際機関、市民社会の代表が一同に会して協議し、中東北アフリカの経済、社会分野における自発的な改革努力を促進。我が国も毎年参加。閣僚級会合への参加国、機関、団体数	成果実績	国・機関・団体	42	40	42	42		
		達成度	%	100%	100%	105%	—		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込		
	閣僚級会合、高級実務者会合をはじめとするB MENA関連会合への出席回数	活動実績 (当初見込み)	回	2	2 ( 3 )	3 ( 3 )	— ( 3 )		
単位当たりコスト	966 (千円/1会合)		算出根拠	23年度実績額/参加会合数					
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
		計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	「BMENA構想」の合意に併せて創設された「未来のためのフォーラム」は、G8、パートナー国及びBMENA諸国の政府と市民社会との重要な対話の枠組みであり、我が国としてもG8参加国としてプレゼンスが必要。執行については、ディスカウントチケットを利用する等したため執行額を抑えることが出来た。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	毎年開催される「未来のためのフォーラム」の閣僚級会合及び高級実務者会合に出席しており、ディスカウントチケットを利用する等のコスト削減に努めている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	毎年、閣僚級会合が開催される他、右会合に先立ち高級実務者会合や複数の市民社会団体によるワークショップが開催され、議論に備えた準備作業が行われている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	G8議長国による取り纏めの結果、中東の市民社会の活性化と改革努力促進のため、本件についてはG8として、引き続き継続する方向。我が国としても本事業に引き続きコスト削減に努めつつ協力していく。		
予算監視・効率化チームの所見			
－			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
－			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	511	平成23年行政事業レビュー	494

個別事業名：

※平成23年度実績を記入



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

個別事業名：

A.出張者			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	航空賃, 日当, 宿泊料等	1			
計		1	計		0
B.出張者			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

個別事業名:

支出先上位10者リスト

A.出張者

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	出張旅費(航空賃, 日当, 宿泊料等)	1		
2	個人B	出張旅費(航空賃, 日当, 宿泊料等)	0.4		
3	個人C	出張旅費(航空賃, 日当, 宿泊料等)	0.3		
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.出張者

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	出張旅費(航空賃, 日当, 宿泊料等)	0.7		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					